



care for carers

ケアする人をケアする樹（気）を育てましょう！

～ケアする人（ケアラー）へのエールをこめて～

もはや家族だけで介護を担うことはできない時代になりました。

地域包括医療も在宅医療も主役はケア職です。私たちの地域、身の回りには多職種・多数のケアラー（ケアする人）がいます。“看取り・新時代”を支えるのは、介護を支える家族、そして医療・介護現場で働くケア職なのです。

今、そのケア職への理解とケアに誇りをもって活躍できる環境づくりが大切な課題になっています。

ケアラーは日々、患者・家族・お年寄りに“与えること”に勤しんでいます。「家族なのだから面倒をみるのは当たり前」「職業として報酬を得ているのだからケアするのは当たり前」ではないのです。ケアする人が“与えること”をもっと楽しめるように。制度や処遇改善ももちろん必要ですが、その前に、

社会からの《無条件の暖かな感謝のまなざしと態度》が必要です。

黙っていても伝わらないのです。わかっているけどしないのではなく、感謝の言葉と、信頼の態度を、日々表現できる市民風土をつくりたいと願います。

みんなのMITORI・研究会では、《看取り・新時代》の勉強会を実施するにあたり、その願いを「ケアする人をケアする樹（気）」に込めることにしました。《樹を多職種のケアラーズに見立て、勉強会の全6回をとおして、CAREする人への応援の花で飾り、掲げます。》この樹で、まず、ケア職種の多数の存在を認め、理解し尊重するエールを花でおくりたいと思います！

この趣旨にご賛同いただける方、ぜひ裏面の専用発注書を利用してお申込みいただくと嬉しいです！

会場の演台の横に「ケアする人をケアする樹（気）」を掲げ、皆様からのお花代としてのご寄附の分だけ、花を飾らせていただきます。この樹が花でいっぱいになっていきますように・・・！

「ケアする人をケアする樹（気）」は《看取り・新時代》勉強会の同じ受講生仲間である青葉台フローリスト様がボランティア参加し、アレンジを担当していただきます。

※尚、皆様からのご寄附が演台の横に飾れるお花分以上に集まった場合、本研究会の運営費に充当させていただきます旨、何卒ご了承ください。

みんなのMITORI・研究会・応援花事務局

代表 近藤和子

担当者 (株)青葉台フローリスト 黒河内康子

応援花へのご協力は、裏面の発注書兼確認書をご利用ください。

